

第 6 開所した交番の概要

第 6 開所した交番の概要

1. トア・パヨ警察署の概要

シンガポール警察の組織は、警察本部の下に 8 つの警察署があり、A～Hまでの名称が付してある。

トア・パヨ警察署は、B地区警察署ということで、

“ B Divisional Headquarter ” と呼ぶ。

同警察署の入口には、

“ Toa Payoh Police Station ” の表示がしてある。

同警察署は、シンガポールの中心からやや東南に位置した新興団地を主に管轄し、署員 518 名を擁している。

(1) 組織機構

警察署長以下 518 名で、

防犯課

刑事課

警ら課

に分かれている。

交番に関する所管は、警ら課が担当している。

(トア・パヨ警察署の組織機構のチャートは、末尾参照) (写真 32. 33. 34)

(2) 管内実態

ア. 面積・人口・世帯数(1983年6月現在)

面積 18平方キロメートル

人口 235,180人

世帯数 43,221世帯

HDB(住宅開発局)の団地棟数～294棟

イ. 管内居住人種別人口(1983年6月現在)

・中国人～192,615人(全人口の82%)

・マレー人～26,841人(全人口の11%)

・インド人～11,472人(全人口の5%)

・その他～4,252人(全人口の2%)で、中国人が圧倒的に多い。

ウ. 犯罪発生検挙状況

1982年の犯罪の発生・検挙状況をみると、

発生件数
 (刑法犯) 5,281件
 検挙件数 1,204件
 検挙率 22.7%

であり、検挙が低調である。

(刑法犯発生検挙率 —— 1981年)

件名	発生件数	検挙率
強盗	197件	23.5%
侵入盗	313件	19.0%
自動車盗 (オートバイ盗を含む)	376件	8.5%
ひったくり	83件	26.5%
痴漢	43件	30.0%

1983年に入ってから犯罪傾向は、

侵入盗

自動車盗(オートバイ盗を含む。)

が増加傾向にある。

2. 試験実施署としてトア・パヨ警察署を選定した理由

交番制度導入の目的は、警察と市民とのコミュニケーションを通じ良好な協力関係をつくりあげ、犯罪の予防、検挙に資することにある。

この目的を達成するためには、特に「巡回連絡」を積極的に推進することが必要である。

トア・パヨ警察署管内では、新興住宅団地が建設中であるとともに個人住宅(一戸建て)も相当数あるので、住民との接触を積極的に推進していくのに適している。

また、同警察署が将来新しく移転、改築予定もないこと、さらに同警察署管内には警察と市民とのパイプ役であるRC(住民委員会)も多数組織されていること等を考慮し、同警察署を試験実施署に選定したものである。

3. 開所した交番の概要

シンガポールの行政区画は、選挙区を単位として設定されている。

シンガポール全市には、75の選挙区があり、原則として1選挙区に一つの交番を建設する予定になっている。

トア・パヨ警察署には、8つの選挙区があるので、今回開所する交番の数も8か所と決定された。

しかし、建築作業の遅れにより、6月現在、施設の完成している交番は1か所のみで、仮設の交番（ベニヤ板張り）が5か所、未着工のものが2か所となっている。

本年末までには、全部完成の予定である。

(1) 交番の名称

交番の名称は、冠頭に選挙区名を付し、次に交番を意味する。

“ Neighbourhood Police Post ” （NPPと略す）
を付して呼称する。

8か所の交番の名称は、次のとおりである。

- Khe Bong Neighbourhood Police Post
- Toa Payoh
- Boon Teck
- Kuo Chuan
- Kim Keat
- Thomson
- Aljunied
- Potong Pasir

(2) 交番の設置場所

交番は、団地の中心やコミュニティ・センターの近くで住民に便利な場所を選定し、10階以上のHDB住宅の1階のボイド・デッキ（Void deck, 空間）を利用して建設されている。（写真35.36）

(3) 交番の構造、施設、備品等

完成交番である「キーボン交番」の構造、施設、備品等は、次のとおりである。

- 床面積～110平方メートル（約33坪）
- 鉄筋コンクリート造り
- 内部は、受付事務所、多目的会議室、倉庫、シャワー室、休憩室、トイレに区分されている。（写真37）

○多目的会議室には、20の机が備付けてあり、住民との会議にも利用できるように設計されている。

同室の壁には、管内地図をはじめ勤務員の顔写真パネル、RC、CCCのコミュニティ・リーダーの顔写真パネルを掲示し、警察と市民の一体感が育つよう配慮されている。(写真38.39.40.41)

○備品としては、自転車4台、無線機の充電器、投光器、チェーン・ソー、レインコート、死体処理用シート、蛇取り器等が備付けてある。(写真42)

○休憩室には、冷蔵庫、ガスコンロ等、日常生活のできる設備がある。

(4) 各交番管内の特徴

交 番 名	管 内 の 特 徴
キ ー ボ ン N P P (仮 設 交 番)	団地棟数35棟。付近に小学校、アメリカ系列の電機会社があるが、閑静な住宅街
ト ア ・ パ ヨ N N P (仮 設 交 番)	団地棟数35棟。交番前は市民広場図書館・映画館等があり、8か所の中では一番忙しい交番
ブ ン ・ テ ッ ク N N P (仮 設 交 番)	団地棟数41棟。閑静な住宅街
ク ユ ー ・ チ ュ ア ン N P P (仮 設 交 番)	団地棟数39棟。交番前に工場があるが他は閑静な住宅街
キ ム ・ キ ー ト N P P (仮 設 交 番)	団地棟数81棟。全交番中で団地棟数が一番多い。
ト ム ソ ン N P P (仮 設 交 番)	団地棟数5棟。全交番中で所管区面積が一番広く個人住宅も多い。将来団地の増築予定地である。
ア ル ジ ュ ニ ー ド N P P (未 着 工 交 番)	団地棟数44棟。所管区面積は非常に広いが空地が多く工場、団地が新設されつつある。
ポ ー ト ン パ サ ー N P P	団地棟数14棟。所管区面積が広く個人住宅、会社、工場も多い。

(6) 交番員の配置

ア 交番員の階級別配置人員

勤務員 交番名	交 番 長 (警 部)	班 長 (巡 査 部 長)	巡 査 長	巡 査	計
キーボン NPP	1	4	6	14	25
トア・パヨ NPP	1	4	6	14	25
ブン・テック NPP	1	4	6	18	29
キュー・チュアン NPP	1	4	8	20	33
キム・キート NPP	1	4	8	24	37
トムソン NPP	1	4	6	14	25
アルジュニード NPP	1	4	8	16	29
ポートンパサー NPP	1	4	6	14	25
計	8	32	32	134	228

イ 交番員の人種別配置人員

最初に述べたように、シンガポールでは公用語は英語であるが、老人の中には英語を話せない者もいることから、交番員の職務遂行、中でも巡回連絡実施の際の「言葉の問題」を解決するため、人種別居住人口を考慮に入れた警察官の配置がなされている。

(交 番 員 の 人 種 別 配 置 人 員)

勤務員 交番名	中国人の 警 察 官	マレー人の 警 察 官	インド人・その他 の 警 察 官	計
キーボン NPP	20	4	1	25
トア・パヨ NPP	20	3	2	25
ブン・テック NPP	24	4	1	29
キュー・チュアン NPP	27	4	2	33
キム・キート NPP	30	4	3	37
トムソン NPP	23	1	1	25
アルジュニード NPP	24	3	2	29
ポートンパサー NPP	21	2	2	25
計	189	25	14	228

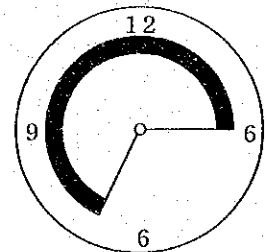
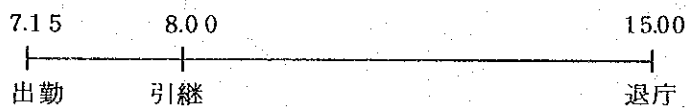
4. 勤務概要

(1) 勤務サイクル

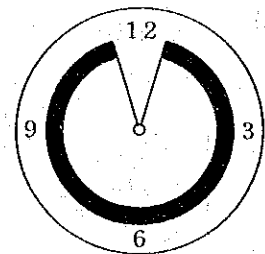
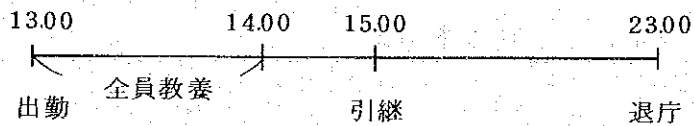
勤務サイクルの種別は、午前勤務（モーニング・シフト）、午後勤務（アフタヌーン・シフト）、深夜勤務（ナイト・シフト）の3種類である、従来からのパトカー勤務員の勤務サイクル（警らシフト）を踏襲したものである。

交番勤務員は、4個班から編成されており、いわゆる3交代4部制による24時間体制をとっているが、日本の4日を一周期とする完全な3交代4部制とは異なり、同じシフトを連続する等不規則な面を有している。

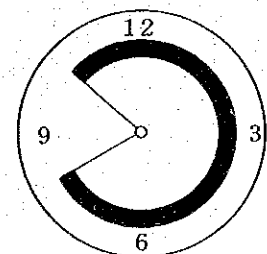
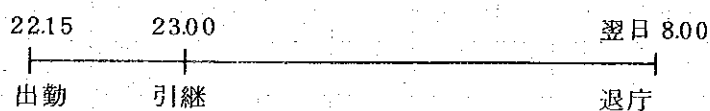
午前勤務



午後勤務



深夜勤務



(2) 勤務例

午前勤務，午後勤務，深夜勤務各々の勤務例については，次のとおりである。

(午前勤務の勤務基準)

OFFICER (勤務員)	TIME (時間)								
	0730	0800	0900	1000	1100	1200	1300	1400	1500
A	B	P	P	NPP	NPP	NPP			HV
B	B	P	P	NPP	NPP	NPP	L		HV
C	B	NPP	P	P	P	NPP	HV		HV
D		NPP	P	P	P	L	HV		HV
E		P	P		NPP	HV			
F		P	P			L	NPP		NPP

B-Briefing (指示) NPP-Post Duties (在所活動)
 P-Patrol (警ら) HV-Home Visit (巡回連絡)
 L-Lunch (昼食)

∴ 在所員は必ず二人

SAMPLE OF A DEPLOYMENT CHART

FOR SECTION 2 OFFICERS (午後勤務の勤務基準)

OFFICER (勤務員)	TIME (時間)									
	1430	1500	1600	1700	1800	1900	2000	2100	2200	2300
A	B	P	P	HV	D	HV	NPP	NPP	P	
B	B	P	P	HV	D	HV	NPP	NPP	P	
C	B	HV	HV	NPP	D	NPP	P	P	NPP	
D	B	HV	HV	HV	D	NPP	P	P	NPP	
E	B	NPP	NPP	P	NPP	D	HV	HV	P	
F	B	NPP	NPP	P	NPP	D	HV	HV	P	

B-Briefing (指示) NPP-Post Duties (在所活動)
 P-Patrol (警ら) HV-Home Visit (巡回連絡)
 D-Dinner (夕食)

SAMPLE OF A DEPLOYMENT CHART
FOR SECTION 3 OFFICERS (夜間勤務の勤務基準)

OFFICER (勤務員)	TIME (時間)										
	2230	2300	2400	0100	0200	0300	0400	0500	0600	0700	0800
A	B	P	P	NPP	P	NPP	NPP	R	P	NPP	
B	B	P	P	NPP	P	NPP	NPP	R	P	NPP	
C	B	P	P	NPP	NPP	P	P	NPP	R	NPP	
D	B	P	P	NPP	NPP	P	P	NPP	R	NPP	
E	B	NPP	NPP	P	P	NPP	R	P	NPP	P	
F	B	NPP	NPP	P	P	NPP	R	P	NPP	P	

B-Briefing (指示) NPP-Post Duties (在所活動)
P-Patrol (警ら) HV-Home Visit (巡回連絡)
R-Rest (休憩)

(3) 勤務形態

ア. 在所活動

在所活動には、立番勤務と在所勤務の2種類がある。

- 立番勤務においては、交番の入口付近に立ち又は交番を中心に約100メートル周辺を遊動しながら所外警戒に当たり、不審者の発見、職務質問、火災・交通事故等の異常事態の早期発見、交通渋滞の解消等の活動を行う。(写真43)
- 在所勤務においては、事務所内カウンターで椅子に腰掛けて勤務し、来訪者に対する応対、書類作成その他市民サービス等の活動を行う。

イ. 警ら活動

警ら活動は、担当区域(通常3~5の担当区に区分)を徒歩、自転車、スクーターで警らし、不審者の発見、職務質問、犯人の検挙、交通の取締り、999番事案の処理その他市民サービスにあたる。

ウ. 巡回連絡

巡回連絡は、政府機関、一般家庭、工場、事務所、商店等を巡回し、警察と市民の良好な関係の醸成を図り、住民の協力を得て管内の実態把握に務める。

さらに、犯罪予防、交通事故防止に対する指導を行うほか、住民の苦情、意見、要望

の聴取を行う。

交番開所の初期段階においては、次の段階に分けて巡回連絡を実施する。

第1段階

住民委員会（RC）のメンバーと一緒に実施する。

自己紹介を兼ね、住民に対して交番の位置、目的等の説明を中心に行う。

第2段階

警察官が単独またはペアで実施する。

名刺を渡したり、犯罪防止、交通事故防止に関するパンフレットを配布するほか、住民の要望、意見を聴く。

第3段階

第2段階の住民の要望、意見に対する回答、措置について知らせるとともに、巡回連絡カードについて説明する。

以上が巡回連絡のあらましであるが、第1段階から第3段階までを6か月以内に終了し、それ以降は年2回の割合で実施していく予定である。

(4) 交番の取扱い範囲

交番での事務取扱いは、基本的には市民サービスを重点に行われるが、日本の交番との相違点を挙げると、

- 住所変更届の受付
- 死亡証明書の発行（ただし、原因のはっきりしているものに限る）。
- 貴重品の識別刻印（イングレーピング。時計、カメラ等の貴重品に小型電気ドリルで所有者の名前を彫る。）

その他は、日本の交番と同様、

- 犯罪防止に関する助言・指導
- 遺失物の取扱い
- 盗難被害届出等の受理
- 地理案内
- その他のサービス行為

等を行う。

これらは、今回の交番制度の発足に伴い、新しく取り入れられたものではなく、これまで警察署において取り扱われていたものを交番で取り扱い、市民の利便を図ったものである。

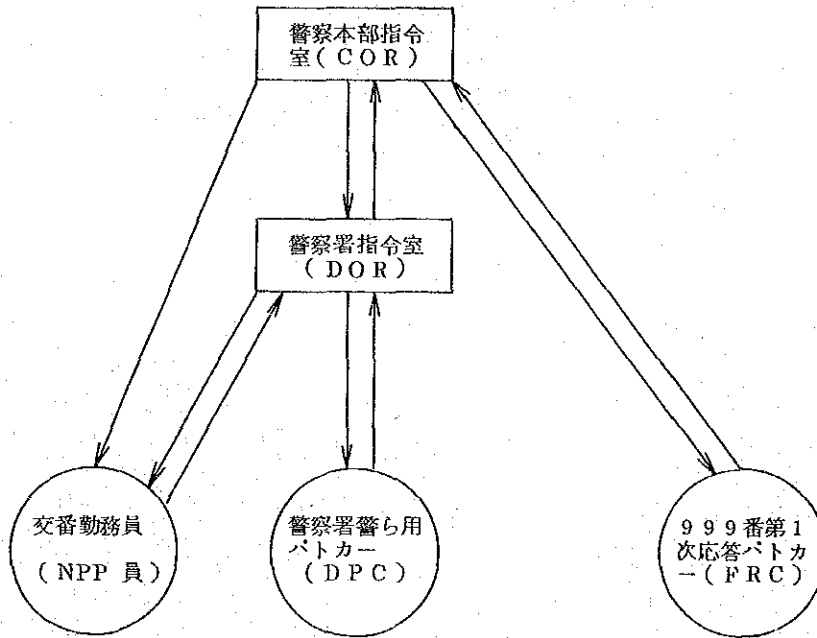
(5) 交番活動の一日

交番活動の1日を概観してみると、

- 交番員は、午前7時15分までにトア・パヨ署に出勤する。
通勤方法は、バス利用がほとんどで、バイク、自動車（個人所有）通勤は少ない。
出勤と同時に制服に着替える。
- 幹部立会いのもとで、けん銃と弾を受領し、指定された場所で弾込めを行う。
- 制服、装備品を着装した後、午前7時30分から署の裏庭で、その日の担当交番長（8名が交代で実施）の点検を受ける。点検は、服装、姿勢、態度、装備品等について実施する。（写真44）
- 点検終了後、署2階の訓授場に集合し、交番長から署長の指示事項、前日の犯罪発生件数等執務上必要な事項について指示を受ける。
- 交番へは、指示終了後大型バス1台、マイクロバス2台に分乗し、搬送する。
- 勤務交代は、概ね午前7時45分ごろから午前8時0分ごろまでの間に交番に到着し、非番員との引継ぎを行い交代する。（写真45）
- 就勤は、大交代後、班長の指定による勤務例により就勤する。すなわち、勤務表に立番、在所、警ら、巡回連絡等勤務が表示されており、それに従って活動が開始される。
- 休憩は、午前勤務、午後勤務、深夜勤務のそれぞれにおいて1時間ずつ与えられている。昼食、夕食はこの時間に済ませるが、日本式の「出前」の配達がないので、食事は
 - ・ 手作り弁当持参の者
 - ・ 付近の商店から買ってきて、交番で喫食する者
 - ・ 上衣を着替え、近くの食堂で喫食する者
 等、まちまちである。なお、仮眠をとるためのベッド等の設備はない。
- 午前勤務者は、午後3時に午後勤務者と交番において交代した後、警察署へ引き揚げて私服に着替え退庁する。
各交番の班長8名は、警察署へ引き揚げた後、ディブリフティング（反省検討会）を行う。

5. 通信指令機構

(1) 指令機構図



(2) パトカーの運用台数及び運用形態

シンガポール警察の活動は、従来チーム・ポリシング・カー（パトカーに4名乗車）によって管内を警らする勤務形態がとられていた。

DPCは、これに相当するものであり、またFRCは、急訴事案に対応するためのパトカーである。

FRC・DPCの運用台数及び運用形態は、次の表のとおりである。（写真46）

パトカーの種別	午前勤務	午後勤務	深夜勤務
FRC	2台	4台	2台
DPC	5 "	5 "	5 "
計	7 "	9 "	7 "

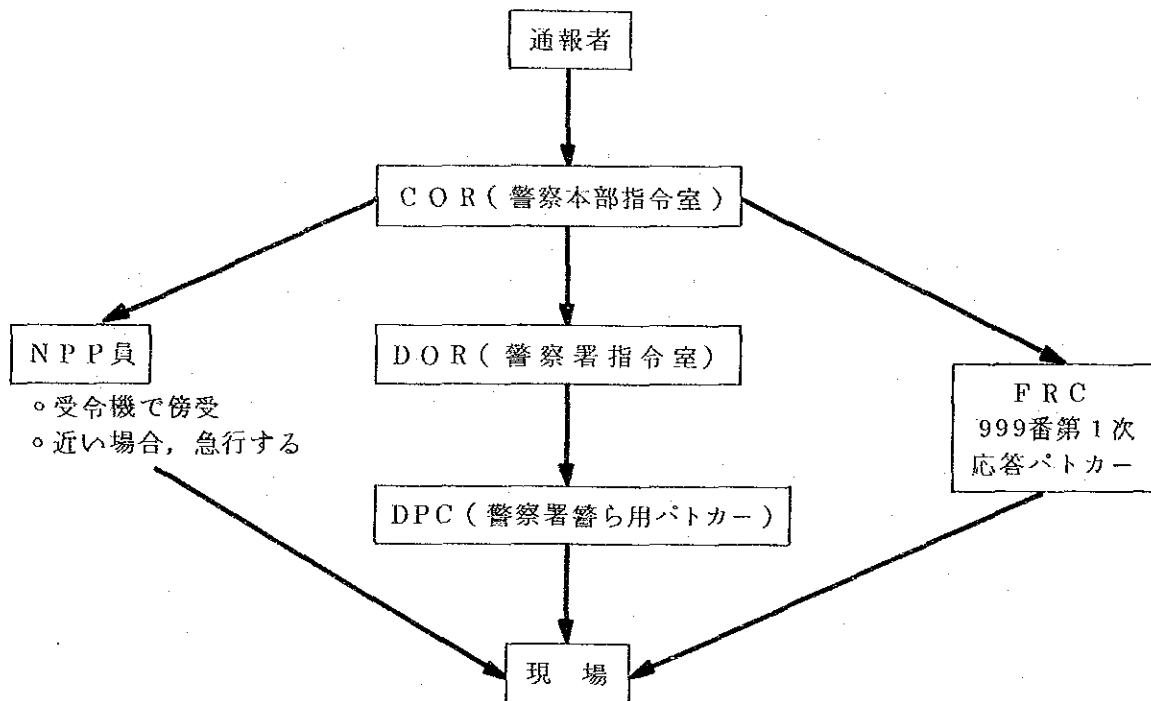
(3) 999番（110番）事案の処理

999番事案については、CORの指令に基づき原則として処理するが、FRCが事件

取扱い中の場合は、DORがDPCに指令し処理する。

なお、交番員は、受令機で傍受し現場が近い場合は急行する。遠方の場合はDORの指示により急行する。

999番事案処理系統図



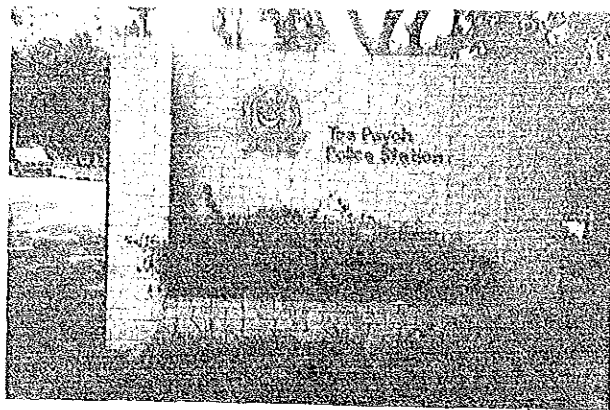


写真32 トア・パヨ警察署入口
(8ヶ所の交番を設置し試験実施中)



写真33 シンガポール警察官の制服姿

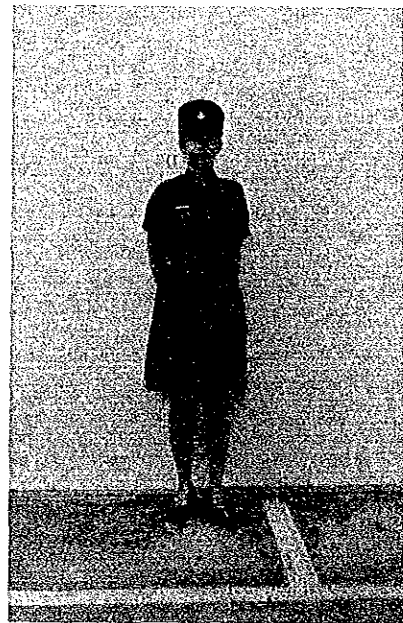


写真34 シンガポール婦人警察官の制服姿

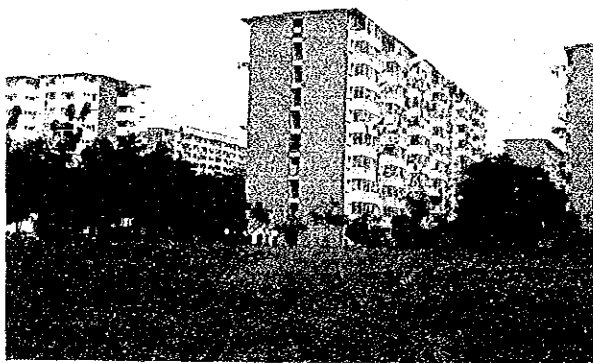


写真35 HDB住宅(1階は全てボイド・デッキと
なっている)



写真36 HDB住宅のボイド・デッキの部分に完成
したキーボンNPP

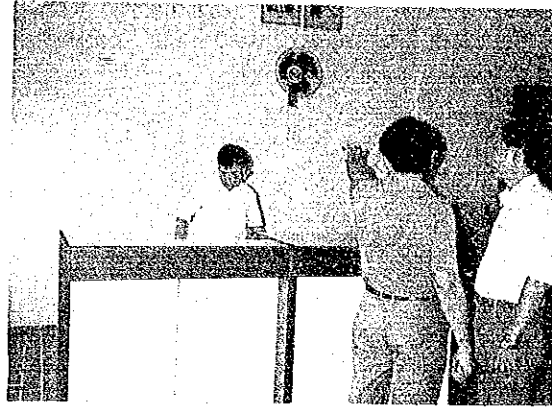


写真37 キーボンNPP内の受付(正面は専門家)

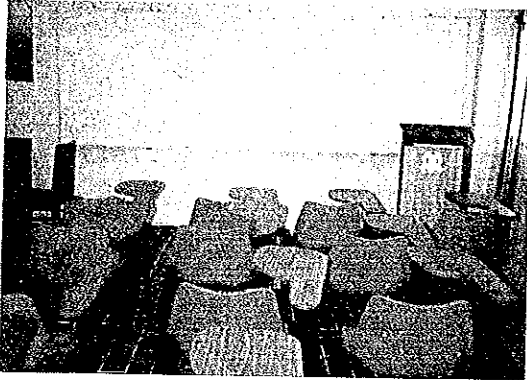


写真38 多目的会議室の状況

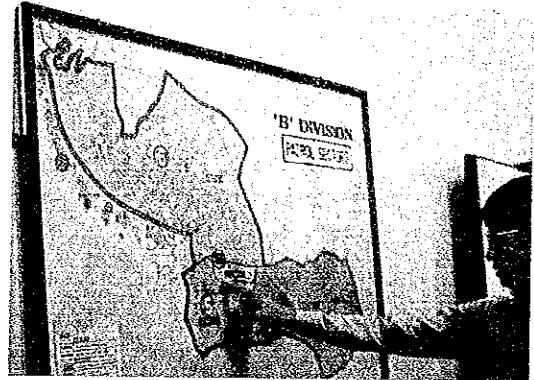


写真39 トアバヨ署管内地図キーボン交番の位置を示す

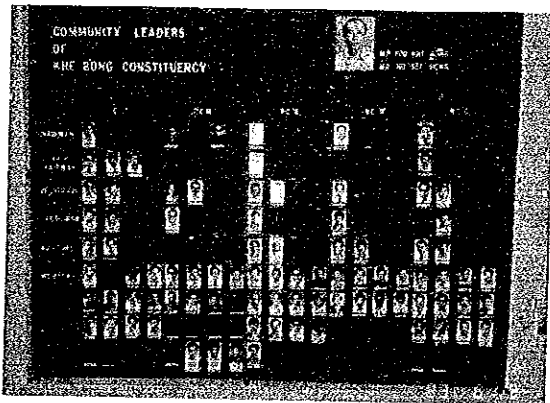


写真40 キーボンNPP管内のコミュニティ・リーダー(RC・CCC)の顔写真パネル

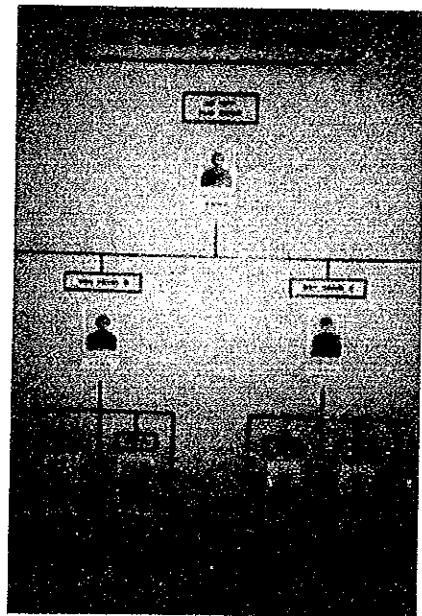


写真41 交番員の顔写真パネル



写真42 蛇取り器の使い方を説明している班長

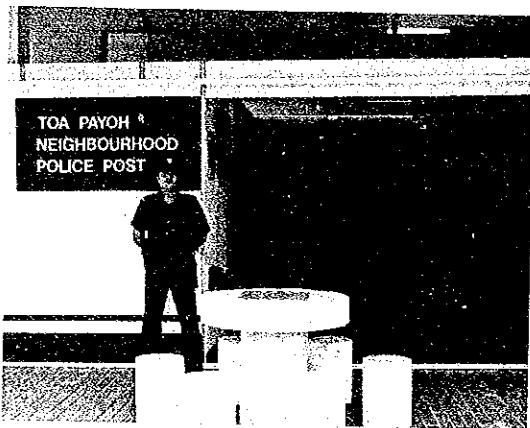


写真43 トア・パヨNPP（仮設交番）の前において立番勤務



写真44 就勤前の点検実施状況

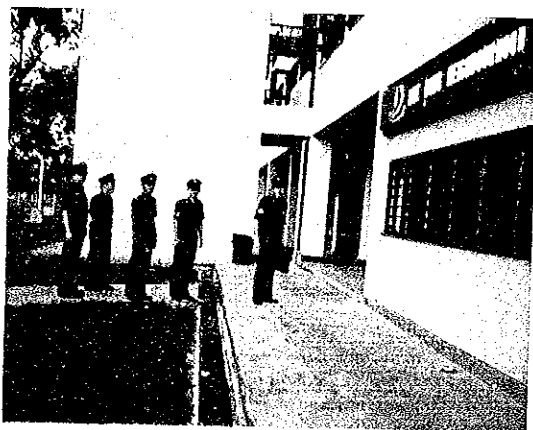


写真45 勤務交代のため、交番に到着する勤務員



写真46 パトカー（車種は日本製）

第7 交番開所式（オープニング・セレモニー）の概要

第7 交番開所式（オープニング・セレモニー）の概要

1. 開所式の挙行年月日及び式場

1981年来、2年余の長期にわたって、シンガポールからの調査団・実務研修団の来日、日本警察の調査団・指導警察官の派遣により、ここに日本の交番制度がシンガポールで結実した。

シンガポールでは、1983年6月3日のポリス・デー（警察創立記念日）を好日として、盛大な交番開所式（オープニング・セレモニー）を挙行した。

式典には、チュア内務大臣をはじめ政府関係者、警察関係者、コミュニティ・リーダー、地域住民が参列したほか、日本警察関係者、在シンガポール日本大使館関係者、JICA関係者等多数が参列して行われた。（写真47. 48. 49. 50. 51）

(1) 挙 行 年 月 日

1983年6月3日午前10時0分から同11時20分まで

(2) 式 場

トア・パヨ警察署近くのキーボン交番（完成交番）前広場に舞台をセットし、式場とした。

2. 開所式参列者

(1) 日本側参列者

ア. 警察関係

警察庁次長 鈴木 貞 敏

（警察庁長官代理）

警視庁総務部参事官 宇田川 信 一

（警視総監代理）

警察庁保安部外勤課 西 山 正 樹

警察庁保安部外勤課 飯 島 修 三

（警視庁から派遣）

同 上 佐 藤 範 男

イ. 在シンガポール日本大使館関係

大 使 深 田 宏

公 使 登 誠一郎

一等書記官 若 木 文 男

二等書記官 木 村 績

ウ. 国際協力事業団関係

国際協力事業団シンガポール事務所長

溝 淵 高 生

(2) シンガポール側参列者

ア. 政府関係

内 務 大 臣 チュア・シュア・チン

内 務 次 官 チャン・キー・ワー

イ. 警察関係

シンガポール警察長官 ゴー・ヨン・ホン

シンガポール警察副長官 ティ・チュア・バ

同 上 マイケル・チャイ

同 上 RC・ダ・シルバー

同 上 ピーター・ツェト・イー

同警察警ら部長 ジャジェット・シン

同警察企画課長 ゴー・リャン・クワン

同警察トア・パヨ警察署長 タン・ゴ・チュー

同警察各警察署長

同警察トア・パヨ警察署員

このほか、国会議員、コミュニティ・リーダー、地域住民を含め、約500名が開所式に参列した。(写真52)

3. 開所式の模様

(1) 式 次 第

午前 9時45分 参列者着席
午前10時 0分 開会並びにチュア内務大臣の祝辞
午前10時40分 記念碑の除幕式
午前10時45分 小宴(立食パーティ)

(2) チュア内務大臣の祝辞

祝辞は、最初中国語で20分間行われ、引き続き英語で行われた。

祝辞の骨子は、次のとおりである。

○ 本日は警察創立記念日である。

この良き日に、キーボン選挙区のキーボン交番の開所式を挙行することは、シンガ

ポール警察にとって歴史上意義あることである。

本日のこの日は、シンガポールに交番制度導入がなされた日として記憶されるであろう。

- トア・パヨ警察署管内には、キーボーン交番のほか5つの交番が開所となる。
これら交番の一年間の組織運用上の評価検討を加え、他の警察署で実施する前に改善すべき点は改善していきたい。
- 来年度には、アン・モ・キオとジュロンに交番を建設する計画である。
両地区に10ヶ所を建設し、次回から5年以内に毎年10ヶ所ずつ建設していく予定である。
また、1992年までに全部で91ヶ所を建設する予定である。
- 交番制度導入の進行度は、いろいろの制約がある。
その1は、警察官の定員の問題である。
1つの交番に30名の警察官が必要であり、従って4,000名の増員が必要である。
3～5パーセントの自然退職を見込んで、毎年700～800名の採用が可能であり、毎年10ヶ所位は建設可能である。
給与改善を考慮しても、本年は400名の警察官を採用できるであろう。
その2は、交番制度導入の前に警察署の境界変更と警察署を新しく建設する必要がある。
旧警察署に代わる新しい警察署の建設の計画に左右されるし、HDBの団地開発の進行度にも左右される。
新しく団地を建設中の選挙区では、団地が完成するまで交番は建設できない。
- 人口の70パーセント以上は高層住宅に居住しているので、公共住宅地を管轄する選挙区を優先させて交番を建設していく。
- 従来のパトロール制度は、高層住宅には時代遅れであり、効果がない。
今までは、パーティカル・パトロール（団地の廊下、階段を垂直に警らすること。）を実施してきたが、成功とはいえなかった。
この方式は、住民と警ら員との接触がほとんどない。
警察官の数からいっても、高層住宅全部に警察官が姿を見せ効果を上げることは

不可能である。

- 警察制度を根本的に改正させるに至った理由は、シンガポールの社会環境の変化・高層住宅の出現によるものである。

住民に対する教育が進むにつれ、住民は権利を主張し、警察のサービスを要求するようになる。

そのため、市民意識を強め、近隣の安全のため警察と協力する気運を醸成させる必要がある。

- このような交番制度について、市民に対して説明し、指導していくことは、急に実行されるものではないことを指摘したい。

実際、警察と市民の良好な関係醸成の基礎は、着々と準備されている。

特に、過去2年間のHDB団地の隣組の草の根組織がそうである。

これらは全国犯罪予防評議会、隣組自警組織、ボーイズ・クラブ等の組織結成により実施されている。

警察官は進んで住民組織に加わり、隣組自警組織の組織作りの先兵になってほしい。

- シンガポールの交番制度は、日本の交番制度を我が国情に合わせて考案されたものである。

我が国は、日本をモデルに採用したわけである。

つまり、日本は工業化が進んでいる国の中で犯罪の発生率を抑制し得ている唯一の国であるが、このことは日本の警察が自信と信頼に根ざした交番制度を通して培われた住民との良好な協力関係によって達成されていることを物語っている。

日本の住民は、何らちゅうちょすることなく警察に情報を提供したり、自分の近くで発生した犯罪の証人となることを自ら進んで申し出る。

交番員によって逮捕された犯人の90パーセントが自供し、刑罰を受けるという事実は、日本の文化的特徴というより、このような市民と警察の良好な関係によるものである。

- 交番制度成功の鍵は、交番員と住民との信頼・協力関係の確立いかにかかるものと考えられる。

それはまた、交番員と住民との接触によって達成されるものである。

交番員は、各家庭を少なくとも年2回巡回連絡し、すべての住民と顔見知りにな

ることができる。

住民は、この巡回連絡によってのみ交番員を味方とするものであり、住民と話し合うことにより警察官は、住民の抱えている問題をより理解するようになる。

また、住民の方も警察の力が必要な時に、どのようにどこへ依頼すればよいか知ることができる。

- 交番員は、今までに警察が実施してきたこと以上に広範囲な役割をもつようになる。

交番に配置される警察官は、特別に選抜され警察学校において交番専科教養を受けた者達である。

これらの警察官は立派な仕事をしていくものと私は信じている。

- この制度を成功させるためには、市民の協力が重要なものであることを強調したい。

警察のみでは犯罪防止の効果をあげることは難しいので、是非市民の協力が必要である。

犯罪が発生した時、事件を目撃した住民が自発的に情報を提供しないならば、警察の捜査は全く行き詰まってしまう。

犯罪は無知・無関心である時にこそはびこる。

過去2～3年の内に、草の根組織の犯罪予防活動と隣組自警組織の参加により、交番制度を成功させるためHDB団地の住民にその精神を植えつけることができる。

- しかし、新しいこの交番制度がどんな組織で何をするのか、協力することによって住民にどんな利益・利便があるのか等を説明するためには、この草の根組織のリーダーの積極的な支持が必要である。

これらのリーダーは、住民の反応に対し有益なフィード・バックをしていくであろう。

- 最後に、住民評議員・国会議員・住民委員会と住民の協力により、交番制度が成功することを信じている。(写真 53. 54. 55. 56)

(3) 記念碑の除幕式

記念碑は、金メッキのプレートで次のような開所をたたえる文字が刻まれている。

同記念碑をキーボン交番の前にセットし、チュア内務大臣の祝辞の後、警察音楽隊のファンファーレによって同大臣が除幕し、拍手喝采を博した。

同記念碑は除幕の後、キーボン交番受付事務所に取り付けられ、永久に保存される。

(4) 報道機関の取材

(写真57)

開所式の模様を取材するため、シンガポールはもとより、日本からも多数の報道機関が取材に当たった。

ア. 日本の報道機関

共同通信社

時事通信社

読売新聞社

日本経済新聞社

関西テレビ

イ. シンガポールの報道機関

ストレイト・タイムズ社

シンガポール・モニター社

SBC (シンガポール放送局)

シンガポール・ミラー社

ウ. その他の国の報道機関

クワイバオ社 (中国)

シンバオ社 (中国)

リェンハウサバオ社 (マレーシア)

(5) 現地の報道内容

ア. 6月1日付の「シンガポール・モニター」には、

“Drinks on the house in the new-look police station”

の見出しで、

「シンガポール警察にとって6月1日(交番活動開始日)の交番開所は歴史的な日であり、将来91か所の交番を建設予定」

という内容が掲載され、さらにキーボン交番員がケーキを囲んで開所を祝っている写真が大きく報道された。

イ. 6月2日付の「ストレイト・タイムズ」には、

“Mr. Smile is here” (新聞記事㉔)

の見出しで、キーボン交番の全景と交番員が微笑しながら団地内を警らしている姿が写真入りで報道された。

ウ. 6月3日付「ストレイト・タイムズ」には、

“Police Poll to capture public view”

という見出しで、6月2日にハイアー・コマンド(中央警察署内)の記者会見室において行われた鈴木警察庁次長の記者会見の様子が写真入りで報道されるとともに、

「シンガポールの交番制度を成功させるには、市民の協力が必要」

と市民の理解と協力を強調した鈴木次長の会見内容が掲載された。(新聞記事㉕)

エ. 6月4日付「ストレイト・タイムズ」には

“Police pots in Ang Mo kio, Jurong in 1984”

の見出しで、来年の2つの地区(アン・モ・キオ, ジュロン)に10ヶ所の交番建設予定という記事が報道された。

オ. 6月8日付「シンガポール・モニター」には、

“How to spot the real NPP cops”

の見出しで、ポートン・パサー選挙区のコミュニティ・センターで行われたトア・パヨ署のタン署長の住民に対する説明内容が掲載された。

カ. 6月11日付「ストレイト・タイムズ」には、

“Sisters say thanks with cakes”

の見出しで、6月10日の交番員の親切執行務が紹介された。

その概要は、次のとおりである。

「トア・パヨ交番管内に住む76歳の老人が急病で困っているのを、同交番員2名が10階の自室まで搬送したことに對して、その家族が大変喜び、感謝の意をこめて、交番にお礼に訪れた。」(新聞記事㉖)

(6) 交番開所に対する市民の反応

○市民A(若い女性)

「すばらしいシステムだと思う。巡回連絡に交番のおまわりさんが来ても拒否しません。私は過去に被害にあったことがあります。今度は届け出るのに近くて便利です。」

○市民B(60歳位の老婆)

「私はこの団地に1972年から住んでいますが、これから安心できます。」

○市民C（中年の男性）

「交番制度は大変良い制度だと思います。なぜなら、交番の警察官が市民にサービスをしてくれるし、何かあった時、我々を守ってくれて安全だからです。」

○市民D（中年の男性）

「警察と市民が良い関係になるので良いと思う。警察官が近くにいるということは大事なことだと思う。」

以上が、我々指導警察官が市民にインタビューした交番開所に対する市民の反応であるが、交番制度のスタートを市民は歓迎しており、市民の反応は我々の予想をはるかに超えて良いものであった。

Mr Smile is here

Story by
NANCY KOH
Pictures by
ARTHUR LEE

The Singapore Police Force took a big bold step away from the normal system of patrolling with the Toa Payoh police division yesterday.

The post, located in Khe Bong, Boon Teck, Kuo Chuan, Thomson, Kim Keat and Toa Payoh constabularies, are the first under a pilot scheme in the division.

The posts resemble the highly-successful Japanese koban patrolling system and are aimed at fostering close rapport between the police and the public as well as getting the public to be more involved in crime prevention.

By the 1980s, 31 police posts will be set up throughout Singapore.

Each post will be manned round-the-clock by an inspector, four sergeants and other junior officers.

Our reporter went to one of the posts and followed one of the police constables on his rounds. These are her observations.

"HAVE you eaten yet?"

P/C Lim Guan Song fired the question at the 25-year-old constable as he sat down to eat with his vocational officer.

He is on foot patrol but if you ask him, he would say "nope", it is "transit" rounds.

Yesterday was the first day for him to get acquainted with his new name, with the 28,000 people from 6703 households at Khe Bong constituency.

P/C Lim Guan Song is stationed at the void deck of Block 89, Lorong 2, Toa Payoh. The post is one of the first in the division.

others in Toa Payoh, which were had the dubious reputation of being the Chicago of Singapore.

Walkie-talkie in hand and revolver slung from the hip, P/C Lim Guan Song makes measured strides with a smart click of his heels.

He has an open, weather-beaten face which often breaks into a smile.

Here and there, he greets residents with a slight nod and a loud "hello". Some others, more used to seeing policemen only when there is trouble, eye him curiously.

"What's up? What has happened?" a suspicious neighbour demands.

"Nothing," P/C Lim Guan Song replies. "But you're going to see my face very often. If you have any problems, just let me know. We'll do whatever we can to help you," he replies.

At Lorong 2, an old woman asks P/C Lim Guan Song, "What's the matter?" P/C Lim Guan Song replies, "Nothing."

Help for an old woman

"I can't seem to get a taxi," she sighs. "Can you help me?"

Within minutes he is opening his car door and helping her into the back seat.

P/C Lim Guan Song turns around to see and says, "I'll take you to the police station. You can get a taxi from there."

P/C Lim Guan Song says if some motorcyclists at the car park are stolen property, he advises the owner of the car to report the theft and to call the police.

He says, "I'll take you to the police station. You can get a taxi from there."

Others came to have their bicycles repaired. P/C Lim Guan Song says that even a bicycle engraver came to report the change of a lock.

A blind man stopped to ask for directions to the bus-stop.

Others came to have their bicycles repaired. P/C Lim Guan Song says that even a bicycle engraver came to report the change of a lock.

A blind man stopped to ask for directions to the bus-stop.

Others came to have their bicycles repaired. P/C Lim Guan Song says that even a bicycle engraver came to report the change of a lock.

A blind man stopped to ask for directions to the bus-stop.

Others came to have their bicycles repaired. P/C Lim Guan Song says that even a bicycle engraver came to report the change of a lock.



Fruit dealer Tan Ching Joak (right) tells P/C Lim about the dark path where some girls and old women have been cornered.

up the HDB area office and in 15 minutes, someone had come to report the theft.

The man who had been eating in the area for 10 years, echoed the sentiments of several others.

"I'm glad the police post is down there. It means we'll get help instantly if there's any trouble. We need to have someone to go all the way to Toa Payoh Station to file a report."

It's informal all the way

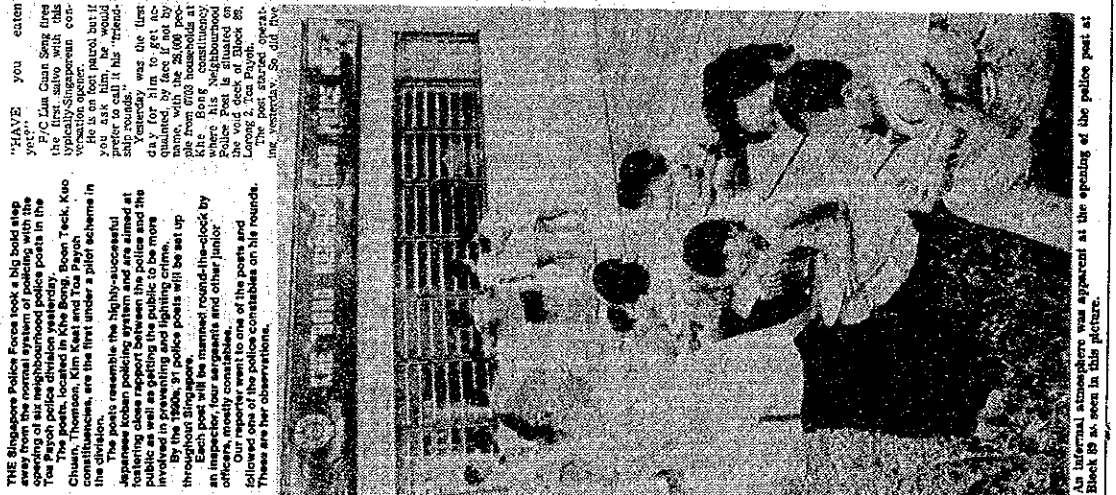
As a special officer came to report the loss of his personal documents, including his identity card, medical card and a family concession pass.

Others came to have their bicycles repaired. P/C Lim Guan Song says that even a bicycle engraver came to report the change of a lock.

Others came to have their bicycles repaired. P/C Lim Guan Song says that even a bicycle engraver came to report the change of a lock.

A blind man stopped to ask for directions to the bus-stop.

Others came to have their bicycles repaired. P/C Lim Guan Song says that even a bicycle engraver came to report the change of a lock.



An informant atmosphere was apparent at the opening of the police post at Block 89 as seen in this picture.

Corporal Tan See Sian offers a plate of poolies to one of the boys who turned up at the opening.

Police's poll to 'capture' public view

THE police will carry out an opinion survey next June, exactly a year after the official launch of the National Pollution Scheme in Toa Payoh, to evaluate its progress and success.

The survey is just one of the performance indicators the police are drawing up to measure the scheme's effectiveness at the time.

And the review will determine whether the scheme will be implemented in other parts of Singapore.

Public is important!

This was revealed by Mr. Toa Bas, Deputy Commissioner of Police (Planning), at a press conference yesterday.

At the present time, a three-man dedicated team has been set up to coordinate the various agencies which helped to implement the scheme.

Mr. S. Sazuki, deputy commander-general of the Japanese National Police Agency, said the survey will be very important.

"No matter how effective the police function, it is the public that makes the system work," he said.

He stressed that although the cultural and social climate differs between Japan and Singapore, the police must ensure that the same spirit is maintained.

The major members of the team are Mr. Shigeo Udagawa, deputy director-general of the Japanese National Police Agency, and Mr. M. H. H. Lim, deputy director of the JNPA.



MR. SAZUKI (center), Mr. Udagawa (left), Mr. Nishiyama (partly hidden by Mr. Suzuki), and Police Commissioner Goh Yung Hong, arriving for the press conference.

of extensive planning and research, Mr. H. H. Lim said.

"They will be able to identify the main trends of the crime and create this atmosphere of mutual trust and cooperation between the two agencies," he said.

Mr. Suzuki added that in Japan the police pay for solving about 70 per cent of the crimes. It is believed that this is because the two agencies are able to work together in a co-ordinated manner.

Getting tough on toxic waste dumpers

INCIDENTS of toxic chemical waste found dumped near reservoirs have prompted the government to consider firm measures to try and stop the problem.

Plans in the pipeline include:

- HEAVIER penalties against those found guilty of illegal dumping;
- licensing of private contractors who dump industrial wastes for disposal;
- KEEPING closer track of the movement of dangerous chemicals within treatment plants;
- ENCOURAGING more companies to set up chemical treatment plants to either recycle or neutralise chemical waste.

These proposals are being put forward to the Economic Development Board and other government bodies.

The EDB is collecting information on the use of treated circuit board (PCB) manufacturers to study the feasibility of getting more

companies to invest in treatment plants for waste chemicals.

The production of PCBs results in a highly toxic chemical waste — mostly ferric chloride and ammonium sulphate — which cannot be easily treated.

None of the PCB manufacturers in Singapore can handle more than 10,000 litres in a month.

There are one or two companies which can handle all that is produced.

Some manufacturers have to ship the chemicals back to suppliers in Singapore.

The EDB is now looking into the possibility of encouraging more companies to set up waste treatment plants. But one new compound which is being developed by a ministry might be step-

Problem

There are one or two companies which can handle all that is produced.

Some manufacturers have to ship the chemicals back to suppliers in Singapore.

The EDB is now looking into the possibility of encouraging more companies to set up waste treatment plants. But one new compound which is being developed by a ministry might be step-

plugged into different suppliers, each with its own characteristics and needing a different treatment process.

The Environment Ministry is looking into having five or six different types of plants to deal with the various types of waste.

There is a fine of \$5,000 for the first offence and \$10,000 for subsequent offences if heavier penalties would include jail sentences, a ministry spokesman said.

"Let's not speculate. It is also getting harder to get waste collectors to do their activities as they are more easily controlled.

Manufacturers need to keep track of who uses which chemicals, how they are disposed of and so on.

The EDB is now looking into the possibility of encouraging more companies to set up waste treatment plants. But one new compound which is being developed by a ministry might be step-

plugged into different suppliers, each with its own characteristics and needing a different treatment process.

Forum on violent crimes against women

WOMEN must learn how to help women handle such situations, the Singapore Women's Organisations (SCWO) and the National Crime Prevention Council are organising a forum on violence against girls.

The one-day session, which includes an exhibition of photographs, will be held at the Sheraton Hotel.

The target group will be the "young" women at school but the forum and the exhibition are also open to the public.

Last year, there were 78 rapes against 52 in 1981, 77 in 1982. Outraging of modesty cases rose from 307 in 1980 to 427 last year.

Two papers

Mrs. Caroline Lam, president of SCWO and a council member of NCPC, said:

"Our young females are very glib. Some do not know their rights — a bogus offer."

Two papers will be presented, Dr. Colleen Choo, a member of the Singapore University of Singapore, will speak on Social Violence and Family Counselling.

Mr. George Palmer, head of development and planning in the Crime Prevention Council, and executive director of NCPC will talk on Preventing Crimes against Women.

The two speakers, together with Mrs. Myra Choo, who works at NUS, and Dr. Choo Woon, a consultant with the Institute of Child Health, will also hold a panel discussion.

Those who wish to take part should contact SCWO on 3366241, and NCPC on 2208516.

Sisters say thanks with cakes

NEIGHBOURHOOD policemen have been getting all kinds of requests from residents since the community-oriented policing system got under way this month.

One of these came yesterday when two of the policemen at the Toa Payoh post were asked to carry a paralysed old man up a nearby block of flats.

But they were not prepared for the gesture of appreciation from the residents themselves.

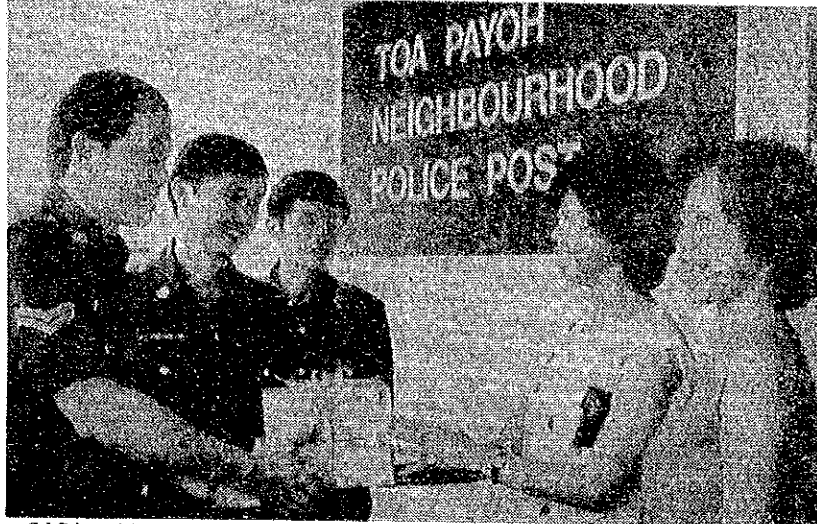
Small way

The two sisters who enlisted Cpl Goh Bee Seng and constable Foo Kack Fah's help later returned with two boxes of cakes for the officers and their colleagues.

The sisters, Cecilia and Lily Wong, said it was a small way of saying thank-you to the policemen.

Their father, Mr Wong Elin Hong, 76, was brought from Toa Payoh hospital in an ambulance.

The two policemen had waited by the roadside to carry him to the lift and then to his tenth-storey flat in Block 78 in Toa Payoh Central.



Cpl Goh receiving the boxes of cakes from Miss Lily Wong while her sister, Cecilia, looks on. On Cpl Goh's left, P. C. Foo and Sgt Yee Kok Cheong of the Toa Payoh Police Post.

Where aspiring leaders can hone their skills

THE reservists' association can serve as a testing ground where potential leaders can polish their skills and demonstrate their commitment to society.

And the association would be only too willing

to provide reservists with this opportunity, said Mr Phua Bah Lee, Senior Parliamentary Secretary (Defence).

He added that Safra had achieved a good measure of success over the last decade in its objectives to strengthen bonds among reservists and to promote a sense of pride and belonging to the armed forces.

Its more than 105,000 members were from all walks of life — and there was no lack of talent or leadership from among them, Mr Phua said in a message carried in the association's 10th anniversary publication.

Potential

There was, perhaps, no other club which could claim such a varied membership; a membership whose potential in both community and national service could be described as being unrivalled.

"Most leaders are not born but bred. They go through the tumblers of trials and tribulations,

contributions would benefit Singapore as a whole.

"What we build, we must defend. Therefore, national defence must be a collective effort. It concerns us all. A society which loses its capacity for a sense of communal responsibility finally disintegrates," he warned.

Mr Phua said Safra had no social barriers to distinguish between the officer and the private, and between the reservist who was a successful businessman and one who was a taxi driver.

Setting

"Safra provides the

Newspaper report denied

We're not pulling out, says Sumitomo

SUMITOMO Chemical is not withdrawing from Singapore's \$2 billion petrochemical complex, contrary to a Japanese newspaper report yesterday, the company told the Singapore government.

Sumitomo, the main Japanese partner in the Singapore complex, denied Asahi Shimbun's front page story which said it was withdrawing because of its already heavy financial burden and could not meet further losses expected when the Singapore complex starts operating.

Despite the denials — from both Sumitomo in Tokyo and personal messages conveyed by Japanese officials here to the Singapore government —

By RONNIE LIM
Our Energy Correspondent

Firstly, an outstanding Singapore government proposal to the Japanese partners on a financing scheme to tide over the project in case of losses, and secondly, the results of an independent study by a consultant on the market outlook for products from the complex.



写真47 チャンギ国際空港に到着した招待者（左より、
溝淵ジャイカ・シンガポール所長・宇田川参事官
・鈴木警察庁次長）



写真48 VIPロビー室でシンガポール警察の歓迎を受け、
会談している様子（チャンギ国際空港内）



写真49 ゴー警察庁長官に対する表敬訪問（左より、
溝淵所長・宇田川参事官・鈴木次長・ゴー長官
・テイ副長官・マイケル副長官）



写真50 チュア内務大臣に対する表敬訪問
（内務省、内務大臣室において）



写真 51 6月2日ハイアー・コマンドで行われた
鈴木次長に対する記者会見の模様

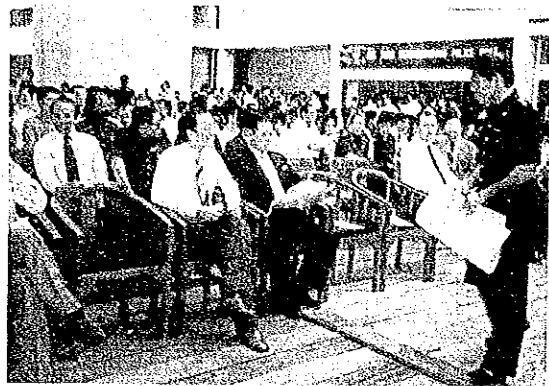


写真 52 開所式に参列した警察関係者及び住民
(手前の制服姿はトア・パヨ署のタン署長)



写真 53 6月3日のオープニング・セレモニー(開所式)

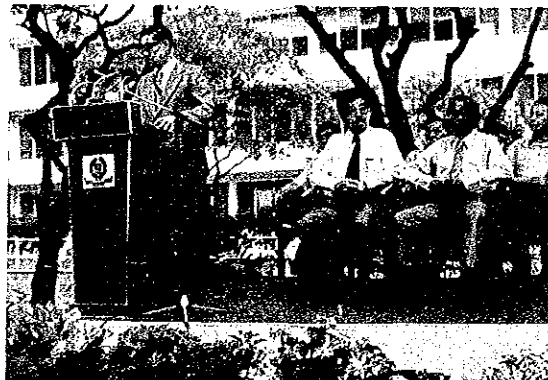


写真 54 オープニング・セレモニーにおいて祝辞を述べる
チュア内務大臣



写真55 内務大臣の祝辞に聞き入る招待者



写真56 オープニング・セレモニー終了後の記念撮影

左より、
 木村二等書記官，登参事官，
 鈴木警察庁次長，
 テュア内務大臣，
 ゴー警察庁長官，
 宇田川参事官，西山専門家，
 海湖JICAツングボル所長，
 飯島専門家，
 タン・トア・バヨ警察署長

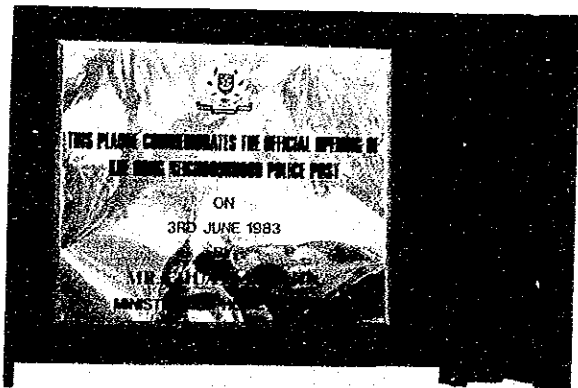


写真57 記念碑

第8 交番開所に向けてのシンガポール警察の 市民に対する広報活動

第8 交番開所に向けてのシンガポール警察の市民に対する広報活動

シンガポール警察では、1983年6月の交番開所に向け、各種広報活動を活発に実施してきた。

1. 説明会の実施

2月には地元選出の国会議員及びゴ-長官によるトア・パヨ地区住民に対する交番制度の説明会を実施した。

5月に入り、トア・パヨ署では、タン署長自ら連夜にわたり、コミュニティ・センターに住民を集めて交番に関する説明会を行い、6月1日までに全8カ所の交番を管轄するコミュニティ・センターでの説明会を終了した。

5月26日には、飯島、佐藤両指導専門家が同説明会に出席し、交番制度について指導助言した。

タン署長の説明に対し、住民から

- 巡回連絡は何時ころくるのか。
- 麻雀やパーティをやっていたら、騒音で取り締まるのか。

といった身近な質問がなされるなど、住民の熱意がうかがわれた。

同説明会には、交番に配置になる予定の警察官を全員出席させ住民の理解を得るための努力がなされていた。

2. テレビ放映

5月28日午後8時0分から、SBC(シンガポール放送)テレビで

- 交番制度の導入趣旨・目的
- 警察学校の教養状況
- 犯罪防止に対する市民への呼びかけ

等について、ゴ-長官、タン署長のインタビューを含め、40分間にわたって放映された。

3. その他

6月1日以降は、月1回開かれるRC・CCC会議に交番長(警部)・班長(巡查部長)が出席し、交番についての説明及び犯罪発生傾向等について説明し、住民の協力を要請していく予定になっている。シンガポール大学の社会政治研究会主催のアンケート(英語、中国語、マレー語で書かれた71項目にわたる警察に関するもの)調査が、5月に実施された。

このアンケート調査は、さらに来年(1984年)6月ころ再度実施される予定である。

第9 シンガポール警察の将来構想

第9 シンガポール警察の将来構想

1. 境界の再編成

シンガポール警察の管轄は、現在8つの地区に区分され、それぞれの地区に8つの警察署（他に空港署・水上署がある）が設置されているが、社会環境の変化に伴い、将来10地区に区分し、警察署の数を10にする予定である。

増設される2つの地区は、次のとおりである。

- 現在の“D” Divisionを分割してClement Divisionを設定する。
- 現在の“F” Divisionを分割してWoodland Divisionを設定する。

2. Divisional HQ（地区警察署）の新設

上記2つの警察署については、1986年に新設し、さらに次の3署の編成替えを1986年に実施する。

- Bedok
- Ang Mo Kio
- Geylang

3. 警察本部庁舎の移転統合

現在、Phoenix Parkにある警察本部を1988年にCantonmentに移転する予定である。

理由は、現在の警察本部庁舎がイギリス植民地時代からのもので老朽化しており、また交通部・CID等の建物が分散していて不便であるため、庁舎を移転統合する必要にせまられてきたためである。

4. 交番建設の将来構想

(1) 1984年の建設予定

1984年には、Ang Mo Kio（住宅団地地区）、Jurong（工業団地地区）に合計10カ所建設する予定である。

5月30日には、ゴ-長官以下20名の警察幹部がAng Mo Kio地区の下見分を実施し、交番の設置場所の検討を行った。

(2) 1985年以降の建設予定

◦1985年には、Clement（住宅団地地区）、Bedok（住宅団地地区）に合計9カ所建設する予定である。

- 1986年には、Queens Town（市街地区）に10カ所 Thomson New Town（住宅団地地区）に1カ所建設する予定である。
- 1987年には、Geylang（下町住宅地区）に建設する予定であるが、数は未定。
- 1988年には、Woodland（工場誘致地区）Tangling（観光中心地区）Central（商業地区）にそれぞれ3カ所、2カ所、6カ所建設する予定である。
- 1989年から1992年までに Rural Area（寒村地区）に残りの交番を建設し、合計91カ所建設する予定である。

以上が交番建設の将来構想であるが、この構想は、日本から提出された交番制度導入に関する提言書に従って計画されたものである。

あ　と　が　き

日本警察の全面的な協力とシンガポール警察の熱心な取り組みによって昭和58年6月に発足したシンガポールの交番制度は、その後順調に運営され、地域の住民からも歓迎されているようである。

多くの関係者の努力によって、いわゆる「交番制度の輸出」という従来にない形の海外技術協力が実を結んだことは、内外に日本警察の評価を高からしめたことはもちろん、今後のこの種の技術協力を進める際の参考となる点が多いであろう。

現地指導をはじめ、実務面での指導の大半を担当した警視庁にとっても、その経緯や教養の状況を記録しておくことは、その意味で大変意義あることである。

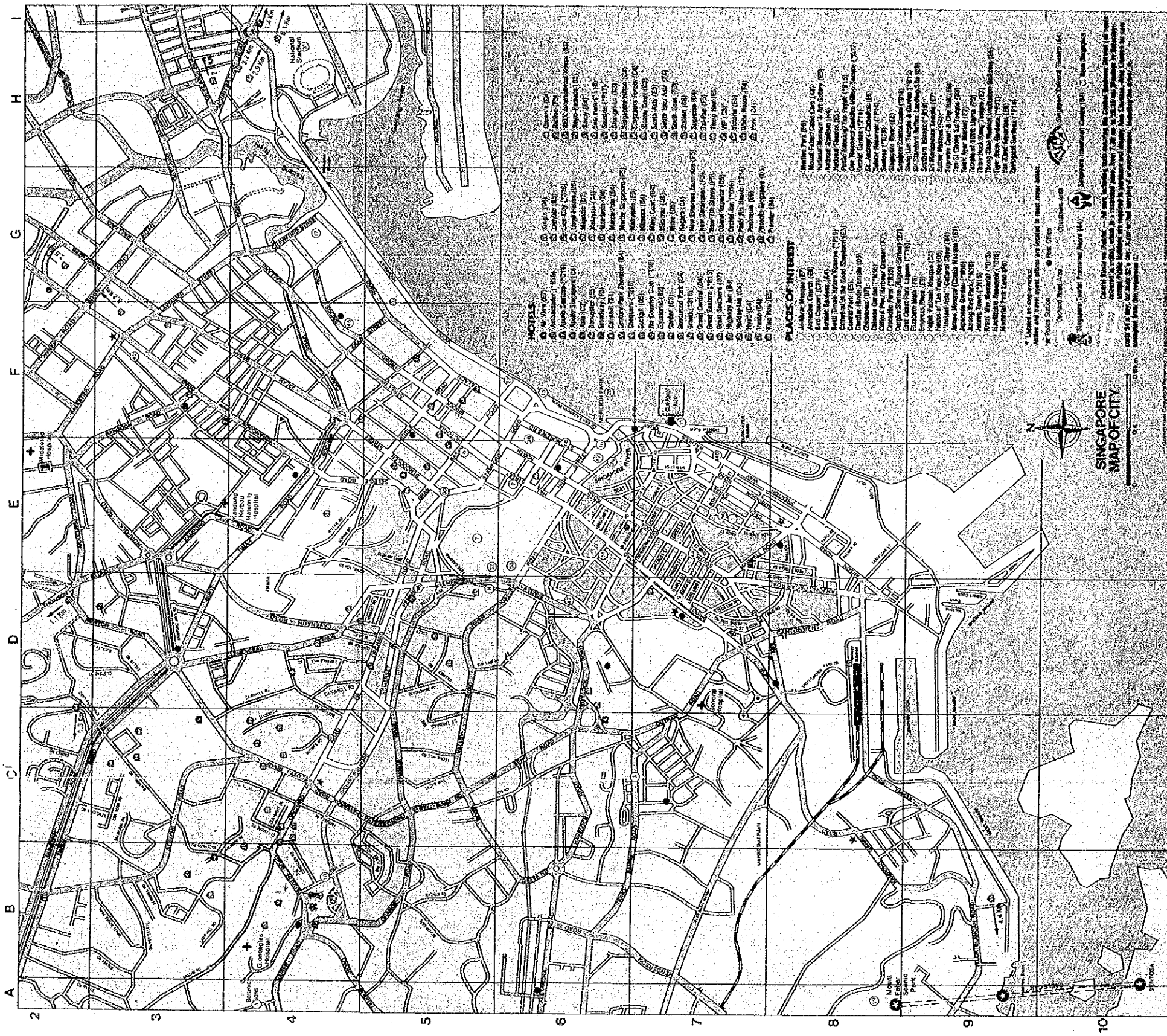
この報告書のとりまとめの機会を与えられた国際協力事業団の企画に感謝するとともに、現在一つの警察署管内で実施中の交番制度が、シンガポール全国へ予定通り拡大することを祈りたい。

昭和59年3月

警視庁警ら部長

警視長 中 門 弘

付 録



HOTELS

- ① Alford (E7)
- ② Anderson (F15)
- ③ Anson (E15)
- ④ Anson (E15)
- ⑤ Anson (E15)
- ⑥ Anson (E15)
- ⑦ Anson (E15)
- ⑧ Anson (E15)
- ⑨ Anson (E15)
- ⑩ Anson (E15)
- ⑪ Anson (E15)
- ⑫ Anson (E15)
- ⑬ Anson (E15)
- ⑭ Anson (E15)
- ⑮ Anson (E15)
- ⑯ Anson (E15)
- ⑰ Anson (E15)
- ⑱ Anson (E15)
- ⑲ Anson (E15)
- ⑳ Anson (E15)
- ㉑ Anson (E15)
- ㉒ Anson (E15)
- ㉓ Anson (E15)
- ㉔ Anson (E15)
- ㉕ Anson (E15)
- ㉖ Anson (E15)
- ㉗ Anson (E15)
- ㉘ Anson (E15)
- ㉙ Anson (E15)
- ㉚ Anson (E15)
- ㉛ Anson (E15)
- ㉜ Anson (E15)
- ㉝ Anson (E15)
- ㉞ Anson (E15)
- ㉟ Anson (E15)
- ㊱ Anson (E15)
- ㊲ Anson (E15)
- ㊳ Anson (E15)
- ㊴ Anson (E15)
- ㊵ Anson (E15)
- ㊶ Anson (E15)
- ㊷ Anson (E15)
- ㊸ Anson (E15)
- ㊹ Anson (E15)
- ㊺ Anson (E15)
- ㊻ Anson (E15)
- ㊼ Anson (E15)
- ㊽ Anson (E15)
- ㊾ Anson (E15)
- ㊿ Anson (E15)

PLACES OF INTEREST

- ① Alford (E7)
- ② Anderson (F15)
- ③ Anson (E15)
- ④ Anson (E15)
- ⑤ Anson (E15)
- ⑥ Anson (E15)
- ⑦ Anson (E15)
- ⑧ Anson (E15)
- ⑨ Anson (E15)
- ⑩ Anson (E15)
- ⑪ Anson (E15)
- ⑫ Anson (E15)
- ⑬ Anson (E15)
- ⑭ Anson (E15)
- ⑮ Anson (E15)
- ⑯ Anson (E15)
- ⑰ Anson (E15)
- ⑱ Anson (E15)
- ⑲ Anson (E15)
- ⑳ Anson (E15)
- ㉑ Anson (E15)
- ㉒ Anson (E15)
- ㉓ Anson (E15)
- ㉔ Anson (E15)
- ㉕ Anson (E15)
- ㉖ Anson (E15)
- ㉗ Anson (E15)
- ㉘ Anson (E15)
- ㉙ Anson (E15)
- ㉚ Anson (E15)
- ㉛ Anson (E15)
- ㉜ Anson (E15)
- ㉝ Anson (E15)
- ㉞ Anson (E15)
- ㉟ Anson (E15)
- ㊱ Anson (E15)
- ㊲ Anson (E15)
- ㊳ Anson (E15)
- ㊴ Anson (E15)
- ㊵ Anson (E15)
- ㊶ Anson (E15)
- ㊷ Anson (E15)
- ㊸ Anson (E15)
- ㊹ Anson (E15)
- ㊺ Anson (E15)
- ㊻ Anson (E15)
- ㊼ Anson (E15)
- ㊽ Anson (E15)
- ㊾ Anson (E15)
- ㊿ Anson (E15)

* Located on map omitted.
 Notes and travel agent offices are located to their main doors.
 Ⓜ Police Station Ⓜ Post Office Ⓜ Clubhouse
 Ⓜ Singapore Tourist Promotional Centre (E4) Ⓜ Singapore National Centre (E4) Ⓜ Bank Singapore

SINGAPORE
MAP OF CITY

Scale: 1:50,000



ORGANIZATION STRUCTURE OF A LAND DIVISION
警察署の組織図

COMMISSIONER (長官)

DEPUTY COMMISSIONER
OPERATIONS (副長官)

COMMANDER
AREAS

OC DIVISION (Spt.)

署長(警視)

STAFF OFFICER
(PNS (F) INSP)

PLANNING, RESEARCH,
STANDING ORDERS, etc.

企画調査

